

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ちとせ療育教室はる		2026（令和8年）年 5月 11日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		年齢や活動水準に合わせてスペースを確保しています。	定員に適したスペースを確保しています。小集団指導と個別指導を子どもの課題に応じて行います。そのため、手狭に感じられる場面もあるかもしれませんが、引き続き職員の意見も参考にしながら、環境づくりに取り組んでまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		常勤換算を2名以上超えるスタッフで対応し、専門職の配置を行っています。	支援の内容や状況によっては、より丁寧な関わりが求められる場面もあるため、引き続き職員同士の連携を深めながら、柔軟に対応できる体制づくりを心がけてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもにわかりやすい場所やスペースを作り活動しやすくしています。	安全確保をしながら、子どもが過ごしやすい環境を整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔保持に努め安全面の配慮も行っています。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		年齢や活動水準に合わせてスペースを確保しています。	個別指導室は1つあり、必要に応じてスペースを区切るなど場所を確保することが可能です。職員間で状況の共有を図りながら、こどもに合わせて、場所を使用できるよう努めています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議で、業務改善の意見交換をしています。継続的に職員が取り組むための、意識づくりが引き続き必要です。	意識して取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な面談などでも保護者の意向を確認し、意見聴取に努めています。	継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年度初めの職員全体会議、週2回の職員会議、週1回の運営会議、毎日朝会、昼会議を実施し、職員間の協議を行っています。	個人面談を定例実施しています。今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		市内児童発達支援センターとの協議の際、第三者による評価についての必要性を確認しました。今後も情報交換しながら検討していきます。	今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間研修計画に基づき共催での研修開催、新人教育を実施しています。外部研修については、掲示板等で周知しております。	今後も継続していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		実施し公表しています。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		発達検査や子どもとの関わりや対話など子どもに応じた、アセスメントを実施し、その重要性を大切にしています。	今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成の際には会議を行い、支援に関わる職員の観察評価を共有し、発達検査等の結果も踏まえ協議した上で作成しています。	今後も継続していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員の認識を共有し話し合いながら進めています。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査と、日常的な子どもとの関わりや対話等を総合的に鑑みてアセスメントする重要性を理解し実施しています。	今後も継続していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに遵守しながら、専門職員のアセスメント結果なども盛り込んだ内容にしています。	今後も継続していきます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	日々の振り返りや反省、グループごとの打ち合わせなどを通じて確認しながら実施しております。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	個別支援計画を作成する際には、目標を具体的に立案し、支援内容を組み立て、現状の子どもの成長に合わせた内容を提供しています。	今後も子どもが主体的に活動できるような支援内容を提供していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	子どもの状況を把握し、現状の課題とそれに適した支援内容や方法について、専門職のチームで検討しています。	今後も子どもの成長に適した支援内容や方法を提供できるよう、職員の専門性の向上に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援前には、活動や教材についてやリーダーなど役割について打ち合わせをしています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援後にグループごとに職員で振り返りを実施し、職員間での情報共有を行い、次の支援に生かすようにしています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日々の活動の中で見られた子どもの小さな成長や変化を記録しています。個別支援計画と照らし合わせながら、必要な修正を行っています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	実施しています。	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	子どものアセスメント結果と必要な支援について偏りが起きないように、専門職のチームで検討しています。子どもの主体性を大切にしながら、総合的な支援を提供します。	子どもが家庭や地域における生活を主体的におくれるよう、「本人支援」と、「家族支援」や「移行支援」、「地域支援・地域連携」による総合的な支援を考えていきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	実施しています。	今後も継続していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	実施しています。	パートで退職職員には、後日情報伝達が可能となるように配慮しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	他機関との連携では、児発管が担当職員の出席を行うように努めています。補装具等は、千歳市や札幌市の整形外科医師と連携して作成しています。年に2回整形外科医による相談を実施しています。	継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	実施しています。	継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	こどもの状況に応じて実施しております。	継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	現状対象児童はいないが、必要があれば実施していきます。	必要に応じて適切に対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	児童発達支援センターと一体的に運営しているので、必要に応じてアドバイスを受けることができます。	継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	放課後の短い時間で成長に合わせた活動を提供することを大切にしています。	保護者の希望があれば、情報交換は可能です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	子ども部会への参加など、協力しています。	継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族支援プログラムの受講機会はありませんが、保護者の面談や相談等で情報提供や子育ての困り感に対して、一緒に良い方法を相談しています。	継続していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に利用の説明に基づいて実施しています。	継続していきます。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者との共通理解を深められるよう電話や面談懇談などで発信し努めております。	継続していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者との共通理解を深められるよう電話や面談懇談などで発信し努めております。	継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月欠かさず通信を発行しています。ホームページにも掲載し、また、別紙で予定表の提出もお願いしております。	継続していきます。SNSの活用に対しては、保護者の意見等も鑑みて検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員の規定を設け、マニュアルも作成し実施しております。	継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報が伝達しやすいように視覚情報や紙面など個々に合った方法を取り入れたりしています。	継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事への地域の方の参加呼びかけは、過去実施しておりましたが、コロナ過以降実施できていません。日頃、お散歩や公園等で、ご挨拶をしたり、場を共有するなどしています。	継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し職員全体会議において周知しています。また、マニュアルを印刷し、職員室にファイル置き、常時確認できるようしています。	継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		非常災害等につきましては、千歳市内全体の方針に基づき作成しております。	継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に聞き取りを実施し、状況が変わったときにはその都度確認しています。マニュアルを作成しております。	継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時及び、おやつ開始時給食開始時にアレルギーについて確認しています。アレルギーのある子どもについては必要に応じて診断書（医師の指示書）を提出していただきます。	継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度初めに、安全に関する研修などの機会に盛り込んでいます。	継続していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に、児を取り巻く危機回避などについては家族と連携を図っています。	今後は、マニュアル化しての周知を行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実施しています。	職員間での共有を徹底するよう今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		実施しています。	継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		記載しています。	継続していきます。